

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月22日

川勝 平太 静岡県知事 殿

提出者

住所 静岡県駿東郡長泉町上土狩234

氏名 帝人株式会社 三島事業所  
事業所長 吉田 信幸

電話番号 055-986-1200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	帝人株式会社 三島事業所
事業場の所在地	静岡県駿東郡長泉町上土狩234
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

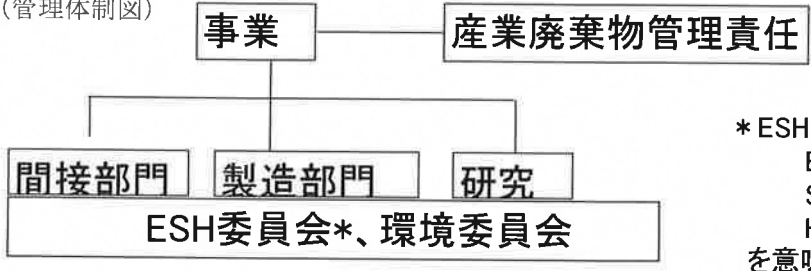
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	繊維工業
② 事業の規模	三島事業所は、複数の炭素繊維とテナックス™プリプレグの生産ラインを備えている。また、世界各地の帝人グループで生産される炭素繊維の原糸となるプリカーサーの生産設備も備えている。
③ 従業員数	463名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR     A[産業廃棄物] -- 全量 --&gt; B[処理委託]     B --&gt; C[処理業者(熱回収有り)]     B --&gt; D[処理業者(再生利用)]     B --&gt; E[処理業者(単純埋立)]             </pre> <p>尚、事業活動上、産業廃棄物がどのように発生しているかは、別紙3に示す</p>

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



\* ESHとは、  
E:環境  
S:安全  
H:健康  
を意味する

取得済みのISO14001 システムを運用し、産業廃棄物管理のPDC Aをまわし、廃棄物に対する横断的な組織(ESH委員会・環境委員会)を編成する。

処理計画書作成担当部署 環境・安全課  
処理計画総括責任者 三島事業所長 吉田信幸

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2021年度)実績】別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) すべての廃棄物に関し徹底した分別を行い、分別方法に関しては、環境安全委員会を通じ周知を行っている。また、分別に関する教育は、新人向けの『環境勉強会』などを通じ、産廃管理責任者が責任者となり、実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) イントラ等を通じ、さらなる分別の徹底を図り、また廃棄物の処理方法(再生利用化)についても周知をし、分別の大切さを全従業員に教育する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2021年度）実績】別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別紙1  
産業廃棄物の抑制に関する事項

【前年度（2021年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス屑					
排出量	405.8t	306.6t	306t	0.0197t	505.5t	35t	3.3t	1.5t					

（これまでに実施した取組）

1. 歩留まり向上による廃棄物量の減少を継続的に行った。
2. 金属屑、廃プラの分別強化により、有償物量の拡大を行った。
3. 廃棄物水分率の低下させた。
4. 適正処理を確実なものとするため、処理業者への定期的な立ち入りを行った。
5. 事業所内幹部に対し、産業廃棄物に対し定例（月次）報告を行い、事業所内への問題点の周知を行った。

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス屑					
排出量	405t	288t	309t	1t	544t	33t	4t	1t					

（今後実施する予定の取組）

1. 2021年度の取組組み継続。
2. さらになる従業員意識高揚を図るため、環境教育を充実させる。
3. 市況の変化により、有償物⇒産廃物となったものを、新たに市場を開拓し、有償物に戻す。
4. 廃棄物としていた端材を原料として使用し、廃棄物を削減する。

別紙2  
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2021年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス屑						
全処理委託量	405.8t	306.6t	306t	0.0197t	505.5t	35t	3.3t	1.5t						
優良認定処理業者への処理委託量	270.6t	306.6t	306t	0.0197t	411t	35t	2.1t	1.5t						
再生利用業者への処理委託量	405.8t	223t	306t	0.0197t	321.8t	0t	3.3t	1.5t						
認定熱回収業者への処理委託量	0t	64.6t	0t	0t	0t	0t	0t	0t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	19.0t	0t	0t	183.7t	35t	0t	0t						

（これまでに実施した取組）

1. 廃棄物処理における有効活用処理の取り組み。
2. 再生利用が可能となるよう徹底した廃棄物の分別。
3. 処理業者との連携を強化し、中間処理場の現地査察の実施。

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	木屑	金属屑	ガラス屑						
全処理委託量	405t	288t	309t	1t	544t	33t	4t	1t						
優良認定処理業者への処理委託量	279t	288t	309t	1t	447t	33t	3t	1t						
再生利用業者への処理委託量	405t	217t	309t	1t	338t	0t	4t	1t						
認定熱回収業者への処理委託量	0t	53t	0kg	0kg	0t	0t	0t	0t						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	18t	0kg	0kg	206t	33t	0t	0t						

（今後実施する予定の取組）

1. これまでの取り組みの継続
2. 業者への優良認定処理業者および認定熱回収業者登録への働きかけ。
3. 優良認定処理業者および認定熱回収業者登録業者切り替えの検討。



帝人 三島事業所 産業廃棄物発生フロー

